

令和3年度

事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名			
01	02	01	02	124040	広報活動事業費			
総合計画	分野	05	行政経営	政策	01 効率的・効果的な行政運営			
	施策	03	わかりやすい市政情報の提供					
目的	市民に市政の状況を理解してもらうため、各種広報媒体を効果的に活用して情報を発信する。							
対象	市民							
意図	市の施策や事業、情報を知ってもらう							
事業概要	広報紙の発行...市の施策や事業、情報を伝える「広報はなまき」の発行、市民ガイドの発行 37,470千円 FM番組の制作...市の施策や事業、情報を伝えるコミュニティFM番組の制作 20,654千円 ホームページ等の活用...ホームページ・ツイッター・フェイスブック・インスタグラムによる市政情報の発信、ホームページ「IS検証の実施など」12,655千円 映像データの作成...市のイベント等をニュース映像で保存するとともにケーブルテレビで放送 2,317千円 有線放送...市の施策や事業、情報を伝える有線放送の運営業務委託と放送施設の更新、保守管理 21,729千円							
市民参加の有無	対象外							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標			単位	区分	R02	R03	R04	
1	広報はなまき発行部数			部	計画	36,200.00	36,500.00	
					実績	36,410.00	36,600.00	
2	有線による放送件数			件	計画	650.00	650.00	
					実績	562.00	529.00	
3					計画			
					実績			
成果指標			単位	区分	R02	R03	R04	
1	広報など市から提供される情報がわかりやすいと思う市民の割合			%	目標	70.00	70.00	
					実績	57.70	58.80	
2					目標			
					実績			
3					目標			
					実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
「広報はなまき」において、新型コロナウイルスワクチン接種をはじめ、市内事業者の事業継続、市民の命や暮らしを守るための感染症対策情報等の周知を積極的に実施。複雑な制度等も分かりやすい表現となるよう努めたが、成果指標としているまちづくり市民アンケートの結果は、目標を上回ることができなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市と市民が情報を共有するためには市からの情報発信が不可欠である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	分かりやすい情報を発信することにより市民の興味を引き付け、読む・聴くといった行動を更に促す。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	情報発信を目的とした印刷物を広報紙に集約しているため、広報ページ数の削減は困難である。外部委託等で人件費の削減に努めており、また、その委託費についても適正なものであり、削減の余地がない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市民に広く情報が伝えられている。有線放送については、広告放送の手数料の見直しを行っており、また、加入、故障時には応分の負担金を徴収している。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	新型コロナウイルスワクチン接種をはじめ、市内事業者の事業継続、市民の命や暮らしを守るための感染症対策情報等の周知を積極的に実施。広報はなまき、ホームページ、コミュニティFM、ケーブルテレビといった複数の伝達手段により、市民に対して効果的でタイムリーな情報発信になるよう努めた。
	次年度に向けて	2月1日号にて実施した「広報活動に関するアンケート調査」の結果を踏まえ、市民がどのような情報媒体や提供方法を望んでいるのか分析し、さらに分かりやすい市政情報の発信に向けた手法の検討を行う。また、現状、月に2回発行している「広報はなまき」について、配布の負担軽減のため発行回数の見直しを求める声もあることから、発行・配布回数について引き続き検討を進める。